

令和4年度

# 事業報告書

社会福祉法人敬愛会

## 令和4年度事業報告

令和2年1月16日、国内で初の新型コロナウイルス感染者が確認されてから3年4ヶ月が経ち、現在でも未だ終息には至っていない。国内の累計患者数は3300万人を超え、今でも増加している。宮崎県内では比較的感染者が少ない状況が続いたが、昨年1月下旬以降3回に亘って押し寄せた感染症の波に、県内でも多くの感染者が発生し、今年1月には1日あたりの感染者数が4,498人となった。小林保健所管内でも、最も多い日には293人に達した。高齢者介護施設を中心にクラスターが発生し、常に感染の脅威にさらされた。マニュアルに基づき感染予防に取り組んだが、4年4月、グループホーム内で感染者が発生した。デイサービスセンターを感染棟にし、ゾーニングを行い拡大防止に務めたが、利用者5名、職員4名が感染した。5年1月、ユニット型施設で感染が発生、利用者4名、職員4名が感染した。利用者のうち1名の方が亡くなられた。入院等の適切な治療を受けられず、尊い命を守ることができなかったことに自責の念を抱かずにいられない。今回のように医療体制が逼迫し、施設内で療養せざるを得ない場合の医療体制（医療スタッフの派遣、点滴や呼吸管理などの処置）の整備について、行政側の迅速な対応が必要である。居宅サービス部門も大きく影響を受けた。デイサービス利用の際は、バイタルチェックや同居家族の状況を確認した上で利用して頂いているが、受入れ時は異常が無く、数時間後に発症するケースが多く見られた。施設入所者に比べて在宅サービス利用者の管理の難しさを痛感させられた。

感染が拡大する中で、入居者及びご家族には心身両面に亘り大きな負担をおかけした。家族との面会は、行政からの指導もあり規制せざるを得ない状況が続いた。ガラス越しの面会では、ガラス1枚のために互いの気持ちが伝わらない情景が見受けられた。中には、認知症が進みご家族の顔が分からない入居者の姿も見られた。ご家族の中には、「このまま手を握ることも出来ずに死んでしまうのではないだろうか。」「一回自宅に連れて帰りたい。」等悲痛な声が聞かれた。長期間に亘って外出や外泊ができず、行事や園内での諸活動まで制限される中で、無気力になり、食事が減り、必要栄養量を確保できずに体調に異変を来す入居者が多く見受けられた。特養、グループホーム共に入院患者数が大幅に増加し、亡くなられた方が倍増した。ユニット型特養では従来型への移動も含めると半数に近い14名の利用者が入れ替わる結果となった。「私たちの100回の呼びかけより家族の一言が効くんです。」職員の声が頭から離れない。開園当初から続いていた家族会活動もこの3年間実施できず、コロナ前に比べて家族との関係性が乏しくなり、意思疎通が図れないままに苦情に結びつくケースが見られた。改めて家族会活動の大切さを知った。

職員にとっても、仕事や私生活両面に亘って厳しい規制や制限が課せられたことで、様々な影響が出ている。施設内研修や諸会議が十分に実施できなかったことでスキルの低下が見られる。また、親和会活動や旅行会、職員間の交流の機会も少なくなり、人間関係を構築できず、相談する相手もなく中途離職に至るケースも見られた。

事業運営面でも、この3年間の中でコロナの影響が大きく現れた。特養、グループホームでは、入居者の多くが心身両面に亘って不安定な状況がみられ、退去、入院が続いたことで稼働率が下がり、前年度に比べて介護報酬収入が減少した。短期入所、通所介護事業等の居宅サービス事業は特に影響が大きく、短期入所事業は、前年度に比べて稼働率が10ポイント下がったことで大幅な減収となった。デイサービス事業は、コロナ関係で延べ24日に亘って休業したことから、利用者数が479人減少した。地域包括会計を除く事業活動収入合計は、コロナ感染症発生前の令和1年度に比べて約700万円の減収となっている。一方、ロシア・ウクライナ間の紛争により、原油価格が高騰したことから、電気料、ガソリンが高騰した。水道光熱費は令和1年度に比べて約430万円高くなっている。また、輸入製品、生産・流通にかかるコストの上昇に伴い、食料品、介護用品等が高騰し、事業活動支出が増加したことから収益率は0.08%となった。

## 1. 法人活動報告

### 1) 理事会開催状況

#### ○第1回理事会

##### [開催日時]

期日：令和4年6月4日（土）

場所：小林市野尻地区農村環境改善センター会議室

##### [報告事項]

①令和3年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について

##### [協議事項]

①令和3年度事業報告及び決算報告の承認について

②令和3年度社会福祉法人敬愛会役員報酬総額案について

③社会福祉法人敬愛会定款一部改定について

④役員賠償責任保険契約について

⑤令和4年度第1回補正予算案について

⑥令和4年度定時評議員会招集事項について

#### ○第2回理事会

期日： 令和4年11月2日（水）提案書（きりしまの園発第32号令和4年11月2日付）発送

開催方法： 新型コロナウイルス感染症予防のため社会福祉法第45条の14第9項が準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第96条及び定款第26上第2項の規定に基づく決議の省略)

##### [報告事項]

①業務報告

②令和4年度上半期事業実績報告

③令和4年度法人中間監査報告

④役員賠償責任保険加入について

##### [協議事項]

①令和4年度第1次補正予算案に関する件

・施設会計第2次補正予算案

・ユニット型施設会計第2次補正予算案

・デイサービス会計第1次補正予算案

・ヘルパー会計第1次補正予算案

・グループホーム会計第2次補正予算案

・居宅支援事業会計第1次補正予算案

②駐車場用地購入に関する件

③定款細則一部改定に関する件

④グループホーム利用料金一部改定に関する件

#### ○第3回理事会

期日： 令和5年2月25日（土）

場所： 特別養護老人ホームきりしまの園会議室

[報告事項]

①業務報告

[協議事項]

①令和4年度補正予算案に関する件

- ・本部会計第1次補正予算案
- ・施設会計第3次補正予算案
- ・ユニット型施設会計第3次補正予算案
- ・デイサービス会計第2次補正予算案
- ・ヘルパー会計第2次補正予算案
- ・グループホーム会計第3次補正予算案
- ・居宅支援事業会計第2次補正予算案
- ・地域包括支援事業会計第2次補正予算案

○第4回理事会

期日：令和5年3月25日（土）

場所：特別養護老人ホームきりしまの園会議室

[報告事項]

①業務報告

[協議事項]

- ①令和5年度事業計画案について
- ②令和5年度収支予算案について
- ③職員定年齢引き上げに関する件
- ④社会福祉法人敬愛会規程一部改定に関する件
  - 就業規則一部改定案
  - 給与規程一部改定案
- ⑤令和5年度職員人事について

2) 評議員会開催状況

○第1回定時評議員会

期日：令和4年6月25日（土）

場所：小林市野尻地区農村環境改善センター

[報告事項]

- ①コロナ感染症について
- ②令和3年度社会福祉法人敬愛会社会福祉充実残額について
- ③令和4年度事業計画並びに収支予算書について

[協議事項]

- ①令和4年度事業報告及び決算報告の承認について
- ②令和4年度社会福祉法人敬愛会役員報酬総額案について
- ③社会福祉法人定款一部改定について

3) 法人監査の実施状況

○決算監査

期日：令和4年5月28日（土）

場所： 特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

①令和3年度事業報告

②令和3年度決算報告

監査委員

監事 南 伊三造

監事 新名 史朗

立会人

理事長、施設長、事務長、部長、課長、係長、主任、各責任者等

○中間監査

期日：令和4年11月26日（土）

場所： 特別養護老人ホームきりしまの園会議室

監査内容

[経理執行状況]

①令和4年度上半期予算執行状況

・月次試算表(令和4年4月～9月)

・介護保険事業実施状況(令和4年4月～9月)

③令和4年度上半期経理事務執行状況

・通帳、小口現金出納簿

・会計伝票

・証憑関係

・契約関係書類

[事業実施状況]

○事業計画実施状況

○業務関係記録の検査

○ヒアリング

[人事関係]

④雇用関係書類

⑤給与台帳

⑥雇用状況

監査委員

監事 南 伊三造

監事 新名 史朗

立会人

理事長、施設長、事務長、部長、課長、係長、主任、各責任者等

4) 研修会参加状況（別紙）

2. 令和4年度施設整備・設備整備状況

1) 設備等整備

・従来型特別養護老人ホームきりしまの園浴室改修工事

（宮崎県介護ロボット導入支援事業）

- ・構築物  
簡易倉庫（従来型特養 2、ユニット型特養 1）
- ・固定資産物品取得  
パソコン  
食器洗浄機

3. 令和 4 年度決算報告（別添）

4. 令和 4 年度介護保険事業等実績（別紙）

## 5. 事業別運営状況

### 1) 介護老人福祉施設特別養護老人ホームきりしまの園

空床型短期入所生活介護事業所 特別養護老人ホームきりしまの園

従来型施設の退去者数は10名で、うち、死亡による退去者が6名で前年度の1.5倍となっている。平均在園年数は2年9ヶ月でほぼ変わらず、平均年齢は90歳6ヶ月でやや長くなっている。障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）及び要介護度状況に大きな変化はないものの、認知症判定基準の中・重度（IV、M）の割合が2.3倍となり、認知症状が進んでいる。年間延べ利用者数は10,350人で前年度に比べて95人減少し、稼働率は94.5%で0.9ポイント低くなっている。要因としては、入院期間の長期化や退去から新規入居までに時間を要したこと等があげられる。事業活動収入は、職員処遇改善のための報酬単価の引き上げ分や物価高騰支援補助金等本年度に限定して支給された補助金等を除く実質的事业活動収入は前年度に比べて36万円の減収となっている。事業活動支出については、感染予防対策費に加えて諸物価、水道光熱費等の高騰の影響を受け厳しい状況がみられたが、感染予防対策のために諸活動や行事が中止・縮小されたこと、施設外職員研修の開催中止・変更により一部経費が執行されなかったことから、事業活動資金収支差額は829万円で前年度をやや上回っている。収益率は1.14%となり辛うじて収益を確保した。

#### ※注釈

実質的事业活動収入：事業活動収入から、職員処遇改善のための報酬単価の引き上げ分（ベースアップ加算、処遇改善支援補助金、）や物価高騰支援補助金等本年度に限定して支給された額を除く実質的な事業活動収入

### 2) ユニット型介護老人福祉施設きりしまの園

ユニット型短期入所事業きりしまの園

事業所内でのコロナ感染症の発症により、短期入所事業を中心に大きな影響を受けた。例年、短期入所事業については空床ベッドを活用して稼働率100%を超える実績を挙げてきたが、事業所内での発症により受入れを一時中止したことから、延べ利用者数が367人減少し、稼働率が91.6%と10ポイント低くなった。

ユニット型施設の退去者数（従来型への移動を除く）は10人で、例年の約2倍となっている。平均在園年数は3年3ヶ月でほぼ変わらず、平均年齢は89歳10ヶ月で前年度に比べ1年9ヶ月低くなっている。認知症高齢者日常生活自立度、障害高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）及び要介護度状況に大きな変化は見られない。年間延べ利用者数は10,188人で前年度に比べて157人減少し、稼働率は93%で1.49ポイント低くなっている。要因としては、長期に亘る入院者数が大幅に増加したこと、退去から新規入居までに時間を要したこと等があげられる。稼働率の大幅な低下により、実質的事业活動収入は849万円の減収となった。事業活動支出については従来型施設同様、感染予防対策費に加えて諸物価、水道光熱費等の高

騰の影響を受け厳しい状況がみられたが、感染予防対策のために諸活動や行事が中止・縮小されたことや施設外職員研修の開催中止・変更により、一部経費が執行されなかったことから、48万円の増加にとどまった。結果、事業活動資金収支差額は前年度を大きく下回り1,927万円、収益率は前年度に比べて2.47ポイント低くなり4.13%となった。

### 3) 通所介護事業（きりしまの園デイサービスセンター）

コロナ感染症の影響を受けて24日間業務を停止せざるを得ない状況となった。また、利用者及び同居家族が感染地域への往来や感染者との接触があった場合には利用を中止していただくこともあり、延べ利用者数は前年度に比べて479人減少した。通所介護事業利用者は207人増加したものの、特定高齢者及び要支援者を対象に総合事業から地域支援事業への移行が進み、総合事業利用者が686人減少したことが影響している。その結果、実質的事業活動収入は133万円の減収となった。事業活動支出については、職員の増員に伴い人件費が増加したのに加え、感染予防対策費に加えて諸物価、水道光熱費等の高騰の影響を受けて約600万円の支出増となった。結果、収益率は前年度に比べて8.78ポイント低くなり、3.46%にとどまった。

### 4) 訪問介護事業（きりしまの園ヘルパーセンター）

コロナウイルスへの感染者は他の事業に比べて少なかったが、派遣先でのヘルパーへの二次感染があり、感染症対策に課題を残した。ヘルパー派遣事業に特化した感染対応マニュアル、BCPの策定に取り組まなければならない。

ここ数年訪問介護事業及び総合事業利用者数が減少する中で、利用者及び同居家族が感染地域への往来や感染者との接触があった場合に、派遣を中止せざるを得ない状況が見られ、派遣時間数は前年度に比べて更に1,123時間減少した。実績拡大を図るための地域医療連携室や居宅支援事業所への訪問活動も休止せざるを得ず、新たな利用者の確保に至らなかった。結果、実質的事業活動収入は264万円の大幅な減収となった。事業活動支出は派遣実績減に伴う人件費の減少により162万円の減となった。事業活動資金収支差額はマイナス257万円となり、平成29年度以降経常収益がマイナスの状況が続いており、現状のままでは事業を存続していくことが厳しい状況にある。

団塊世代が後期高齢者となり、訪問介護サービスに対するニーズは増加していると予測される。退院後自宅で生活を始められた方々へ直接アプローチする等訪問介護サービスの利便性を知っていただき、サービスの拡大に向けた取り組みが必要である。

### 5) 認知症対応型共同生活事業（グループホームむつみ）

小林保健所管轄でもコロナ感染症が蔓延し、野尻地区でも感染者が見られる状況の中、4月15日むつみ1号館でコロナ感染症が発生し、ご利用者、職員合わせて9名が感染した。コロナ感染拡大により諸活動や行事が中止となり、外出・外泊、家族との面会も制限されたことで精神的に不安定になる方が多く見られた。長期期間に亘って生活が制限されたことで、生活意欲を失い食指不良のために必要な栄養量が確保出来ず、機能低下のために入院になるケースもみられた。職員が感染予防対

策のために自宅待機を余儀なくされたことで、日によっては職員数を確保するのが厳しい状況が頻回に見られた。そのために利用者の間には不安感が生まれ、それが突発的な行動に表れ事故に結びつくケースが見受けられた。本年度骨折事故が4件発生し、利用者、ご家族に大きな負担をおかけした。入院者数が倍増したこと、骨折事故等により入院期間が長期に亘ったことで入院日数が増加し、延べ利用者数が190人減少し稼働率は94.6%と前年度に比べて3ポイント低くなった。実質的  
事業活動収入は、前年度に比べて165万円の減収となった。事業活動支出については、感染予防対策費に加えて諸物価、水道光熱費等の高騰の影響を受け厳しい状況がみられた。事業資金収支差額はマイナス562万円となった。これまで当圏域の事業所の中で最も低い利用料金を設定してきたが、厳しい財政状況が続く中で、ご家族に状況を説明し、次年度より食費、居住費の引き上げを行うことで承諾をいただいた。

#### 6) 居宅介護支援事業（きりしまの園居宅介護支援センター）

事業圏域内でコロナ感染症が蔓延する中、デイサービスやデイケア、ショートステイ等の居宅サービスを受けられないケースが頻回に見受けられた。サービスを受けられないことでの不安や不便、家族にかかる負担の軽減を解消するために、サービス事業所と連携し代替サービスの提供や安否確認等の支援を行った。高齢者世帯で夫婦共に感染した事例では、医療機関、訪問看護・介護事業所と連携し、早期に対応することで重篤になるのを防止できた。今回のコロナ感染症拡大を経験し、大規模災害や感染拡大時の支援のあり方について、居宅支援事業所に特化した業務継続計画（BCP）の策定の必要性を感じた。

ケアプラン作成数は前年度に比べて28件減少した。新規利用者はあるものの、入院や施設入所により契約の解除が続き目標値60件は達成出来なかった。

#### 7) 地域包括支援事業（のじり地域包括支援センター）

コロナ禍の中で感染予防対策を講じながら、基本業務に加えて小林市からの委託事業に取り組んだ。地域包括支援センターの中核業務である総合相談支援業務は、本年度より在宅介護支援センター業務が追加されたことにより、住民からの相談が35%増加した。

一方、各事業でコロナによる影響を受けた。地域包括ケアシステムを構築していく上で重要な役割を担う茶のん場やパワーステーション、サロン活動も感染状況に応じながらの開催となった。本年度新たに3カ所にパワーステーションが開設された。地域支援事業が拡大してきた反面、総合事業利用者数は減少している。通所型サービスは、昨年度大幅に減少（42%）したのに加えて更に38%減少した。訪問型サービスについても同様で前々年度に比べて46%減少している。対象者の中には、会場への交通手段の確保が出来ない高齢者や、サービスを利用しなくなることで閉じこもりになり、精神状況の悪化を来すケースもあり注視していく必要がある。

居宅支援事業所連絡会議をはじめ関係団体との会議の殆どがオンラインでの開催となった。会議にかかる時間等状況によっては効率的なところもあった。

コロナ感染拡大により居宅サービスや地域支援事業が一時中止になる中で、在宅の後期高齢者を対象とした在宅高齢者訪問調査事業が引き続き実施された。健康状

態や暮らしぶりを個別に調査することで、高齢者が抱える課題やニーズ、健康状態  
細かく把握することができ、状態によっては行政、医療、介護サービス事業所と連  
携し個々に応じた支援がなされた。

介護保険事業実績表

[令和4年度]

[社会福祉法人 敬愛会]

事業名	区分	計												摘要	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
従来型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	31	31	30	31	30	31	31	28	31	延利用者数前年比:△95人 稼働率94.5% 前年比△0.9%
	利用実人員	30	30	31	31	29	29	30	30	29	29	29	30	31	
	延べ利用者数	890	906	857	897	880	856	893	843	882	829	782	835	10,350	
	1日平均利用者数	29.67	29.23	28.57	28.94	28.39	28.53	28.81	28.10	28.45	26.74	27.93	26.94	28.36	
ユニット型 介護老人福祉施設 (定員:30)	営業日数	30	31	30	31	31	31	30	31	30	31	31	28	31	延利用者数前年比:△157人 稼働率:93% 前年比:△1.4%
	利用実人員	30	31	30	30	29	29	28	31	30	33	30	30	30	
	延べ利用者数	895	897	826	875	840	763	838	883	930	871	738	832	10,188	
	1日平均利用者数	29.83	28.94	27.53	28.23	27.10	25.43	27.03	29.43	30.00	28.10	26.36	26.84	27.91	
通所介護事業	営業日数	30	31	30	31	31	31	30	31	30	31	28	28	31	延利用者数:前年比 207人増 1日平均利用者数:19.9人
	利用実人員	52	52	53	53	54	57	62	61	59	57	57	53	53	
	延べ利用者数	425	642	617	631	542	554	703	692	603	551	617	636	7,213	
	1日平均利用者数	14.17	20.71	20.57	20.35	17.48	18.47	22.68	23.07	19.45	19.68	22.04	20.52	19.93	
総合事業	利用実人員	18	16	14	17	17	14	13	12	14	12	12	12	12	延利用者数:前年比 △686人 1日平均利用者数 2.64人
	延べ利用者数	95	99	89	101	86	80	81	73	60	56	61	74	955	
	1日平均利用者数	3.17	3.19	2.97	3.26	2.77	2.67	2.61	2.43	1.94	2.00	2.18	2.39	2.64	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	28	28	31	362	
通所事業計	利用実人員	70	68	67	70	71	71	75	73	73	69	69	65	65	全事業延利用者数:前年比 △479人 全事業1日平均利用者数:2.56人
	延べ利用者数	520	741	706	732	628	634	784	765	663	607	678	710	8,168	
	1日平均利用者数	17.33	23.90	23.53	23.61	20.26	21.13	25.29	25.50	21.39	21.68	24.21	22.90	22.56	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
訪問介護事業	利用実人員	22	22	23	22	22	23	23	25	21	19	21	18	261	延べ派遣時間数:前年比 △781時間 利用実人員:前年比 △59人
	延べ派遣時間数	267	281	242	262	228	209	235	244	244	226	195	178	2,811	
	利用実人員	10	8	8	8	8	7	7	7	8	8	6	7	92	
	延べ派遣時間数	46	38	41	37	40	36	35	32	43	43	35	38	464	
訪問事業計	利用実人員	32	30	31	30	30	30	30	30	29	27	27	25	353	延べ派遣時間数:前年比 △342時間 利用実人員:前年比 △103人 全事業延べ派遣時間数前年比:△1123時間
	延べ派遣時間数	313	319	283	299	268	245	270	276	287	269	230	216	3,275	
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	利用実人員	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
空床型併用 短期入所生活介護事業	延べ利用者数	2	4	12	0	0	0	0	0	13	30	27	30	118	延利用者数(空床併用型含):前年比 △203人 稼働率(ユニット型):91.6% 前年比:△10%
	1日平均利用者数	0.07	0.13	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.42	0.97	0.96	0.97	0.32	
	利用実人員	18	23	26	24	21	28	26	19	21	20	27	29	334	
	延べ利用者数	232	323	333	274	263	329	313	230	193	232	292	328	3,342	
ユニット型 短期入所生活介護事業 (定員:10)	1日平均利用者数	7.73	10.42	11.10	8.84	8.48	10.97	10.10	7.67	6.23	7.48	10.43	10.58	9.16	延利用者数:前年比 △190人 稼働率:94.6% 前年比 △3%
	営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
	利用実人員	18	18	18	18	17	18	18	19	18	18	18	18	18	
	延べ利用者数	530	544	510	485	502	517	535	533	552	529	451	533	6,221	
居宅介護支援事業	1日平均利用者数	17.67	17.55	17.00	15.65	16.19	17.23	17.26	17.77	17.81	17.06	16.11	17.19	17.04	プラン作成数前年比 △28件 (プラン作成数総計793件 前年比:△148件)
	居宅介護サービス計画作成数	55	54	57	58	56	60	58	58	58	61	59	58	692	
	要支援サービス計画作成数	65	60	64	63	63	59	62	60	59	56	53	56	720	
	総合事業サービス計画作成数	9	7	7	9	9	8	5	4	4	4	4	3	73	

施設外研修  
[施設事業]

研修会名	内容	日付	参加職種	人数
東南ブロック特養部会総会(オンライン開催)	(1)令和3年度東南ブロック特養部会事業報告及び決算報告について (2)令和3年度互助会決算報告について (3)会計監査報告について (4)その他	R4.4.26	施設長	1
新規学校求人受理説明会	①都城市役所からのお知らせ ②令和4年3月学校卒業者の求人・求職・就職状況及び新規学卒求人受理について ③正しい採用・選考について ④外国人の雇用管理について	R4.5.20	事務長	1
東南ブロック特養部会 栄養士・調理員研修会(Web研修)	テーマ「栄養管理に伴うLIFEに関する対応」	R4.6.30	介護課長、 管理栄養士、栄養士	3
ユニットリーダー実地研修	熊本県くわのみ荘	R4.7.19~22 R4.10.4~7 R5.2.7~10	介護副主任、介護職員	3
みやざき交流集会2022 BranchMeeting(ZOOM)	第1回「みつける。」 第2回ひとりぼっちにしない「つながる。」 第3回「ささえる。」	R4.7.29 R4.9.15 R4.10.31	相談員	1
小林秀峰高校専門課程講座		R4.9.13	介護職員	2
東南ブロック特養部会 介護・看護研修会(WEB)	テーマ「認知性肺炎予防・常時接種継続のための口腔ケア	R4.9.28	機能訓練指導員	2
施設従事者向け高齢者虐待防止研修	報告「県内における高齢者虐待の状況について」 講義・演習「身体拘束・虐待防止の教育方法について学ぶ」	R4.10.18	介護副主任	1
介護施設における安全対策担当者養成研修	介護現場で発生している事故について	R4.10.19	介護職員	1
No.76.77社会福祉法人理事者研修		R4.10.25	法人評議員	1
九社連老人福祉協議会施設長研修会	・記念講演「だから化学はおもしろい」 ・講演1「社会福祉連携推進法人の参画方法と具体的展開方法」 ・講演2「経営戦略としての生産性向上と経営者の役割」 ・特養分科会「介護ロボット導入・活用について」	R4.11.11~12.9	施設長	1
みやざき安心セーフティネット事業相談員研修(応用編)ZOOM	・講義「相談員が持つべき視点、コミュニケーション技術について」 ・演習・講義 ①フットケア ②CVポート・PICC ③経管栄養 ④導尿・カテーテル管理 ⑤褥瘡 ⑥感染症対策 ⑦看取りの対応(エンゼルケア) ⑧人工呼吸 ⑨口腔ケア ⑩吸引 ⑪フィジカルアセスメント、急変患者の対応(主にBLS)	R4.11.24	相談員	1
人体シミュレータを用いた在宅医療研修会		R4.12.4	課長補佐	1
パワーハラスメント防止対策説明会(ZOOM)		R4.12.9	事務長	1
小規模法人のネットワーク化による協働推進事業	(1)社会福祉連携推進法人制度の推進について (2)小規模法人のネットワーク化による協働推進事業を推進について (3)その他	R5.2.9	理事長、理事	2
東南ブロック特養部会総会及び施設長研修会	(1)令和4年度東南ブロック特養部会研修運営委員会実施報告について (2)令和5年度研修運営委員(案)について (3)令和5年度研修計画(案)及び研修稼働割合(案)について (4)令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について (5)令和5年度互助会予算(案)について (6)精査表改定(案)について 施設長研修会「高齢者施設における栄養ケアと食支援～人手不足の介護現場における栄養ポイント～」	R5.3.2	施設長	1
宮崎県栄養士会栄養士研修	1)食品の情報の充実 2)炭水化物の細分化とエネルギーの算出方法の変更 3)エネルギー値の算出方法の変更 4)7訂追補(2016~2019)の検討結果の反映 5)日本標準食品成分表2020年版(8訂)への切り替えに伴い、生ずると予想される影響 6)成分表の活用にあたっての基本的留意点	R5.3.11	管理栄養士	1
観音池公園花見付添	入居者10名	R5.3.28	管理運営課長、介護係長 機能訓練指導員、 介護支援専門員	7

[居宅サービス事業]

研修会名	内容	日付	参加職種	人数
成年後見制度市町村職員等基礎研修	講義「成年後見制度に関する基礎知識」・「市町村申立ての業務」	R4.6.17	地域相談員	1
認知症高齢者QOL連絡協議会(豊田)及び全体研修会(Web)	演題「認知症ケアの未来に向けて～私たちのチャレンジによってつくられるものが	R4.6.25	介護主任、副主任	2
キャラバンメイト養成研修	I オリエンテーション II 認知症サポーターに伝えたいこと III 認知症サポーター養成講座の運営方法	R4.7.19	社会福祉士、 認知症地域支援推進員	2
みやざき交流集会2022 BranchMeeting(ZOOM)	第1回「みつける。」 第2回ひとりぼっちにしない「つながる。」 第3回「ささえる。」	R4.7.29 R4.9.15 R4.10.31	介護課長・介護副主任 介護支援専門員	3
地域包括支援センター職員基礎研修(オンデマンド配信)	1 講義「地域包括システムと地域包括支援センターの概要」 2 講義「総合相談支援業務」 3 講義「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」 4 講義「権利擁護業務」 5 講義「自立支援に資する介護予防ケアマネジメント」	R4.8.5~9.1	生活相談員	1
認知症対応型サービス事業管理者研修(ZOOM)	<1日目> ・地域密着型サービス基準について、地域密着型サービスの取組みについて ・介護従事者に対する労務管理について <2日目> ・適切なサービス提供のあり方について	R4.8.9~10	介護係長	1
九社連老協通所介護部会Webセミナー	・通所介護事業所における業務継続計画(BCP)作成のポイント「自然災害編」 ・通所介護事業所における業務継続計画(BCP)作成のポイント「感染症編」	R4.9.13	居宅課長、介護主任	2
県老協 訪問介護部会 全ブロック意見交換会(Web)	説明「全国ホームヘルパー協議会からの国会について」 意見交換(ブレイクアウトルームを活用したフリートーク)	R4.9.28	訪問介護主任	1
安全運転管理者講習会		R4.10.7	介護副主任	1
認知症地域支援推進員研修(新任者研修)	・研修1日目1. 講義【認知症施策の動向と推進員の役割の理解】 2. 情報交換【自 地域で推進員活動を展開するために推進員同士のネットワークづくり】 3. 講義 【自地域で推進員活動を展開するために推進員活動の実効性を上げるためのプロ セス～PDCAサイクルと活動計画～】 4. 講義【認知症の人とその家族の支援体 制構築のために～連携支援と認知症ケアパス～】 5. 事例報告【新潟県胎内市：地 域にあるものを活かしながら、地域共生に向けた取り組みを展開】 ・研修2日目 6. 講義【認知症の人とその家族の地域支援体制の構築～認知症対応 力向上の支援や社会参加活動の体制整備も含めて～】 7. 事例報告【北海道恵庭 市：気軽に支えあえる地域に～めざせ！140,000の目～】 8. グループワーク【自 地域で推進員活動を展開するために課題の整理と活動計画の作成、活動成果の の必要性・事業立ち上げや運営に係る具体的な説明と事例紹介 ～次期改正に向けた戦略及び意見交換会～ 講義【通所介護における介護保険制度次期改正に向けた戦略について】	R4.12.13~14	地域相談員	1
短期集中予防サービス事業通所O型事業説明会	・小林市自立支援型介護予防の取組と短期集中予防サービス事業通所O型事業 の必要性・事業立ち上げや運営に係る具体的な説明と事例紹介	R4.12.16	生活相談員	1
県老協 通所介護研修会 II (ZOOM)		R5.1.18	居宅課長	1
県CM協会介護予防ケアマネジメント実践者研修		R5.1.18	介護支援専門員	1
CMケアマネジメント向上支援事業に係るケアマネナビ ゲーターによる集団相談・助言(ZOOM)		R5.1.20	居宅主任、 介護支援専門員	2
介護保険事業所に対する集団指導(動画配信)		R5.2.8	居宅課長、訪問介護主任	2
小林市ヤングケアラー研修会	講演「ヤングケアラー当事者の人生から考える支援のあり方」	R5.2.13	居宅課長	1
居宅介護支援東南ブロック2022年度総会及びセミナー(ZOOM)	セミナー「ケアプランを含む介護分野でのデジタル署名サービスについて」	R5.2.15	居宅主任、 介護支援専門員	2
小林市指定居宅介護支援事業所集団指導(ZOOM)	・令和6年3月31日まで努力義務となっている事項について ・その他	R5.2.17	居宅主任、 介護支援専門員	2
地域密着型サービス事業所集団指導(ZOOM)	・令和6年3月31日まで努力義務となっている事項について ・その他	R5.2.17	GHホーム長	1
介護相談員活動協議会(ZOOM)	①介護相談員派遣事業について意見交換会 ②来年度からの活動方法について (3)その他	R5.2.20	GHホーム長	1

令和4年度職員研修実施状況

1. 施設内研修

[全体職員研修]

日時	研修名	内容
R4.6.29~R4.7.13	虐待防止・身体拘束・人権擁護(動画視聴)	

[その他]

日時	研修名	内容
R4.11.1	令和4年度福祉サービス苦情解決巡回訪問指導	